



Vol. 407

2026. 2. 20

県知事指定農業委員会ネットワーク機構

発行：一般社団法人静岡県農業会議

所在地：静岡市葵区大岩本町 15-21

TEL.054-294-8321・FAX.054-294-8380

### <今月の主な内容>

#### I 農政対策ニュース

- ・24年度農作物の鳥獣被害188億円3年連続で被害額増加

#### II 組織の動き

- ・1月の常設審議員会他
- ・農業振興公社からのお知らせ

#### III 農業者年金のページ

- ・新規加入者の状況他

#### IV 情報のページ

- ・新聞・出版(新刊)の案内他

#### V 今後の日程

## I 農政対策ニュース

### ◇24年度農作物の鳥獣被害188億円 3年連続で被害額増加

野生鳥獣による農作物被害額が2024年度に188億円となり、前年度から24億円増加したことが農水省の調査で明らかになった。被害額が増加するのは3年連続。中でも24年度は前年度を15%上回る顕著な増加となった。

鳥獣種別で被害額の増加が目立つのは、鹿79億円(前年度比9億円増)、猪45億円(同8億2千万円増)、ヒヨドリ8億円(同4億7千万円増)など。このうち鹿は、北海道が58億3千万円で、鹿による被害額全体の74%、被害増加額の76%を占めた。猪は全国的に被害額が増加。渡り鳥でもあるヒヨドリは年度により変動があるが、24年度は九州などで被害額が増加した。

北海道の野生動物対策課は、エゾシカによる被害額の増加について「近年、生息数が増加傾向にあるので、それが一つの要因になり得る」との見方を示している。

### ◇農林水産物など現地売り込みや輸出国多角化を強化 輸出拡大で関係閣僚会議

政府は13日、農林水産物・食品の輸出拡大に向け、現地系商流への売り込みや輸出国の多角化を強化する方針を固めた。現地の「輸出支援プラットフォーム」を起点に現地系スーパー・レストランなどへの売り込みを強めるほか、輸出額の少ない国・地域を対象に市場調査などを進め、販路を拡大する。各国・地域の規制の撤廃・緩和に向けた働きかけも強化する。2025年度補正予算や26年度予算を活用し、これらの取り組みを後押しする。

同日に開いた関係閣僚会議で明らかにした。

農林水産物・食品の輸出額は12年連続で過去最高を更新しており、24年に初めて1兆5千億円を突破。25年も過去最高のペースで拡大しており、11月までの輸出額は24年実績に迫る勢いとなっている。ただ、30年5兆円目標、の達成のためにはあと5年で3倍もの輸出額の拡大が必要であり「抜本的なベースアップが不可欠」(農水省)とされている。

議長の木原稔官房長官は「(対策の)実行に当たっては(中略)関係閣僚のリーダーシップが重要」と述べ、さらなる取り組み強化を指示した。

#### ◇国産初・野生イノシシ用豚熱経口ワクチン製造開始

農水省は1月20日、野生イノシシ用国産豚熱経口ワクチンの製造が開始されたと発表した。

共立製薬(株)(東京都千代田区)、(株)津田(熊本県八代市)、塩野香料(株)(大阪市)の三社共同で、国産初のワクチンを製造する。これまで野生イノシシへの経口ワクチンは主にドイツ製の輸入品を使っていたが、同省は国内での安定供給をめざし、開発に取り組む企業などへ予算支援を行ってきた。

豚熱は2018年9月に岐阜県で26年ぶりに確認されて以降、昨年末時点で42都府県で野生イノシシへの感染が確認されている。今後は熊本県をはじめ、順次供給される見込み。

#### ◇効果的な登用促進方法探る 女性委員ら全国から集い研修会

農業委員会の女性委員登用促進に向けた課題や対策を掘り下げる「女性の委員登用促進研修会」(主催＝都道府県農業会議・府県女性農業委員会組織、後援＝全国農業会議所、全国農業委員会女性協議会)が1月21、22の両日、都内で開かれた。

2026年度は7割の農業委員会が改選を迎えるため、国の定めた「農業委員に占める女性の登用率3割」「女性委員が登用されていない農業委員会ゼロ」の目標達成に向けた活動がより重要となっている。研修会には100人を超える女性委員、農業会議職員らが参加。摂南大教授の藤井和佐氏による基調講演のほか、小グループに分かれて9×9のマス目に大目標・中目標・手段を書き込み、思考を整理するマンダラーチャートの作成発表、農水省・内閣府との意見交換などを通じて情報を共有し、効果的な登用促進活動のあり方を探った。



マンダラーチャートを作成する参加者

#### ◇25年農林水産物など輸出1兆7005億円 鈴木農相5兆円達成へ「ペースアップ」

農水省は3日、2025年の農林水産物・食品の輸出額が1兆7005億円(対前年比12・8%増)だったと発表した。13年連続での過去最高の更新となり、主要輸出先国・地域すべてで対前年比増を記録した。

米国向けは4月から関税措置が導入されたものの、2762億円(同13・7%増)と過去最高を記録。輸出先の上位10カ国・地域でも中国、香港を除き、過去最高の輸出額となった。中国向けは水産物の輸出規制の影響が残るものの、1799億円(同7%増)となり3年ぶりの増加となった。

品目別では20品目で過去最高の輸出額を更新したが、25年時点で2兆円という輸出額目標には及ばなかった。同日、鈴木憲和農相は現地系商流への売り込みが不十分だったと見解を示し、30年に目標とする輸出額5兆円達成に向け、「輸出拡大の抜本的なペースアップが不可欠」と述べた。

#### ◇出荷業者の販売数量調査 開始以降で最少 25年産米12月末現在

農水省は1月30日、2025年産米は昨年12月末現在で全国の出荷業者の集荷数量が249・1万トン(前年同月比 34・9万トン増)、販売数量が 50・4万トン(同 11・6万トン減)だったと発表した。出回りから12月末までの累計で集荷数量は24年から回復傾向だが、販売数量は調査を開始した 14 年以降、最少の数量となった。同省は販売段階での在庫過多により、集荷業者から卸への販売の鈍化が起きているとの見解を示した。

また、民間在庫量は同85万トン増加し、12月末在としては21年、22年に次いで、近年では高い在庫水準の338万トンになったと発表。内訳は出荷段階が260万トン、販売段階が78万トンだった。

#### ◇「極めて私としても危機感」 25年・米の民間輸入95倍増で鈴木農相

鈴木憲和農相は、2025年の米の民間輸入数量が9万6834トンと前年の 95 倍近くに増えたことについて「極めて私としても危機感を持っている」と述べた。

昨年は5月以降の備蓄米の流通や6月からのSBS入札でピークの7月から民間の輸入量が減少に転じたが、SBS輸入で希望数量を落札できなかった事業者などが民間輸入を行ったことで例年に比べて高い水準で推移した。鈴木農相は背景として、24年以降の米価上昇により1キロ当たり341円という高水準の枠外関税を支払っても外国産米の方が安価な状況が続いていることを挙げた。その上で、民間輸入が定着すれば、国内市場が奪われかねないとの認識を示した。

3日の定例会見で記者の質問に答えた。

鈴木農相は、引き続き外国産米の需要の移行や国産米の価格・販売量を注視しつつ、低価格帯も含めた消費者の多様なニーズ・需要に応じた生産を推進するとした。

一方、25年の米の輸出数量は4万6千トンと、前年比で3%ほどの伸びにとどまっており、鈴木農相は高水準の国内価格が輸出する上でも影響したとの認識を示した。

★「I 農政対策ニュース」は、全国農業会議所が発行する「全国農業新聞」2面の記事等を抜粋、転載している。同新聞は農業委員会活動にタイムリーで有益な情報が満載されているので、当会では購読を推進している。購読希望者は、IV情報のページ(13頁)を参照のこと。

## II 組織の動き

### ◇1月の常設審議委員会

農業会議は1月22日に静岡市の静岡中央ビルで定例の常設審議委員会を開いた。下表の農地法等に基づく諮問案件について、許可相当として答申した。なお、令和7年12月及び令和8年1月の県内における農地転用許可案件については8～9頁(県農地調整課まとめ)のとおり。



常設審議委員会

### 【議 事】農地法等に基づく諮問

(件)

法律別 市町別	農地法		農振法 15条の2
	4条	5条	
浜 松 市		3	
島 田 市		1	
裾 野 市		1	
菊 川 市		1	
合計		6	

(注)諮問案件の農地法第4条、5条は同一目的の申請に係る農地面積が 30a超

### ◇農地転用等現地調査を実施

県農業会議は、1月22日、23日に標記調査等を静岡市、掛川市で実施し、常設審議委員、本会職員の15人が参加した。

農地転用案件は令和7年7月、10月の常設審議委員会において審議した掛川市の農地法第5条の一時転用の不許可案件と許可案件のそれぞれ営農型太陽光発電の案件について農業委員会から説明を聞き、許可案件については、適正に営農するように指導していることを確認した。

現地視察として静岡市で行われている農地中間管理機構関連農地整備事業と(有)春華堂の「地域“志”本主義」和栗の未来はきっとロマンだ！について掛川市の栗の木育成所を視察した。

#### 1 農地転用現地調査(掛川市)

掛川市内の3件の営農型太陽光発電の案件について確認した結果、一部の案件では継続的に営農状況の確認が必要であった。

①当該圃場は、下表の不許可案件と同一事業者の圃場、農業委員会の指導により営農は改善。

不許可	案 件	区 分
令和7年7月	農地法第5条 一時転用 営農型太陽光発電 営農作物:柿	農用地区域内 農地



営農型太陽光発電施設での柿の栽培状況

② 当該圃場は、周りは水田。ハウス用地として造成。継続的に営農状況の確認が必要。

許可日	案件	区分
令和7年10月	農地法第5条 一時転用 営農型太陽光発電 営農作物:柿	農用地区域内 農地



営農型太陽光発電施設での柿の栽培状況

③ 掛川市内での優良事例。柿の営農状況もよく、継続的に出荷されている。

許可日	案件
平成27年7月 (当初)	農地法第5条 一時転用 営農型太陽光発電 営農作物:柿



営農型太陽光発電施設での柿の栽培状況

## 2 農地中間管理機構関連農地整備事業（静岡市）

静岡市駿河区東豊田地区の県営経営体育成樹園地再編整備事業(機構関連型)について、中部農林事務所の勝地孝則所長、笠井大輔技監、落合直道主査から説明を受けた。

当事業は、区画整理を実施し、圃場の大区画化や集団化を図り、農作業を効率化させることにより、担い手を育成。

事業前に事業区域内の全ての農用地で中間管理機構が中間管理権を有することが要件。事業完了後から5年以内に8割以上の担い手に集団化、販売額 20%以上の向上、もしくは生産コストの20%減少する計画である。

工期は令和2年度～令和9年度で、予算は、862,000千円。地元負担なし。農家数は、従前の94人から25人に集約。栽培作物は、茶、露地野菜、イチゴで、大区画化により単収の増加、品質向上、機械導入が可能となり、作業時間の減少する見込み。



中部農林事務所による事業内容の説明

## 3 「地域“志”本主義」和栗の未来はきっとロマンだ！

一般社団法人和栗協議会の事業概要について(有)春華堂の飯島美奈部長、林慎司室長、亀井剛課長代行、松尾和広さんから説明があった。

栽培は、掛川市、袋井市、菊川市、浜松市に7カ所、44,300 m<sup>2</sup>で栗を栽培中。能登地震により被災した松尾和広さんが移住し、栗の木の剪定の指導をしている。

和栗協議会は、国内の栗生産者同士のネットワークを



荒廃農地を再生し栗を植えた圃場と松尾和広さん(左)

繋ぎ、農業と地域と人を繋ぐ。参画団体は、異業種を含む 51 団体。県内外の大学と連携しスタディーツアーをカリキュラム化している。官民連携で、「地域“志”本主義」を掲げている。

#### ◇農地利用最適化の推進に関する農業委員会巡回を実施

農業会議は、「農地利用の最適化推進」をテーマに、農業振興公社の新田明彦理事長、同駐在職員、静岡県農業共済職員とともに、2月9日に下田市および南伊豆町、2月10日に松崎町および西伊豆町、2月16日に熱海市および伊東市を巡回した。各市町では、農業委員会の会長、事務局長らと面談し、各農業委員会の取組状況や課題について意見交換を行った。

意見交換では、以下のテーマを中心に活発な議論が交わされた。

- ・地域計画のブラッシュアップに向けた取組状況
- ・下限面積要件の廃止に伴う課題
- ・営農型太陽光発電事業に関する課題
- ・タブレットの活用状況
- ・農業委員会サポートシステムの運用
- ・農地利用最適化交付金の活用
- ・所有者不明農地への対応

農業会議は、各農業委員会の取組状況や課題を共有し、今後の活動に反映させていく。



下田市農業委員会



南伊豆町農業委員会



松崎町農業委員会



西伊豆町農業委員会

#### ◇令和8年度女性の委員登用促進研修会

(一社)全国農業会議所及び全国農業委員会女性協議会(会長 道下和子)の共催による標記研修会が1月21、22日、東京都で開かれ、全国の女性農業委員等107人が参加、本県から大箸千賀子しずおか農業委員会女性の会副会長(磐田市)及び本会職員が参加した。

はじめに、摂南大学現代社会学部藤井和佐教授が、「農業委員会への女性の参画をめぐる現状と課題に関するアンケート」集計結果より-委員への就任前後にみる登用のためのヒント-と題し講演。その後、参加者が14グループに分かれて「女性委員の登用促進のための取組について」をテーマにマンダラーチャートを作成、それぞれの代表者がグループワークの成果を発表した。 1

2日目は、農林水産省女性活躍推進室重光真紀子課長補佐から「女性登用施策・取組について」情報提供いただいた後、意見交換を行った。



全国から集まった女性農業委員の皆さん

#### ◇農業者年金業務担当者会議を開催

農業会議とJA 静岡中央会は標記会議を2月3日に WEB 方式で開いた。

会議には、市町農業委員会の農業者年金担当者38人と JA の担当者10人の合計48人が出席した。本会職員と JA 静岡中央会職員が加入推進の取り組み状況と今後の取組、適用・収納課関係、給付課関係、情報管理課関係、業務委託手数料、考査指導等について説明した。

#### ◇松崎町農業委員会研修会開かれる

松崎町農業委員会は、2月16日に農業委員、推進委員を対象に研修会を開いた。農業委員、農地利用最適化推進委員14人が出席、本会職員が農業者年金制度の概要と加入推進について説明し意見交換を行った。



農業者年金研修会

#### ◇農業者年金戸別訪問を実施

農業会議は、2月4日に焼津市で、農業委員会が実施する戸別訪問に同行した。訪問した方は、検討中であるため、今後の推進に期待したい。

#### ◇農業者年金個別相談会を実施

農業会議は、1月28日に磐田市、2月5日に湖西市、13日に焼津市で標記相談会を開いた。相談者の加入者区分変更や待期者の受給手続きについて本会職員が相談に応じた。

#### ◇サポートシステム定着へ個別支援 県農業会議、県内 8 市町で

農業会議は1月下旬から、県内8市町の農業委員会を対象に、サポートシステムの個別操作支援を実施している。

これまでに富士市、函南町、裾野市、富士宮市、川根本町、磐田市、南伊豆町の7市町で実施。

地域計画策定に不可欠な「目標地図」の作図や、農地台帳の最新化、議案作成といった実務に即した操作支援を行った。各現場の課題に応じ、システムの基本操作から効率的なデータ更新方法まで幅広く対応している。2月24日には島田市で区分地図の作成について、支援を行う予定。

引き続き、農業会議はサポートシステムの研修や相談、個別支援を通じ、各市町の円滑な業務遂行を支援していく。



磐田市農業委員会



川根本町農業委員会

## 農地転用許可案件集計表（12月分）

R7

事務所名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
賀茂	4条	0	0
	5条	14	2,877
	計	14	2,877
東部	4条	0	0
	5条	1	908
	計	1	908
志太榛原	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
中遠	4条	0	0
	5条	5	2,402
	計	5	2,402
農地調整課	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
県計	4条	0	0
	5条	20	6,187
	計	20	6,187

移譲市町名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
静岡市	4条	1	1
	5条	5	5,784
	計	6	5,785
浜松市	4条	10	889
	5条	147	82,548
	計	157	83,437
沼津市	4条	0	0
	5条	1	109
	計	1	109
三島市	4条	0	0
	5条	2	3,483
	計	2	3,483
富士宮市	4条	0	0
	5条	3	3,873
	計	3	3,873
伊東市	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
島田市	4条	0	0
	5条	7	11,088
	計	7	11,088
富士市	4条	1	136
	5条	2	3,170
	計	3	3,306
磐田市	4条	0	0
	5条	9	6,322
	計	9	6,322
焼津市	4条	1	110
	5条	5	5,138
	計	6	5,248
掛川市	4条	3	1,312
	5条	16	9,395
	計	19	10,707
藤枝市	4条	1	61
	5条	5	8,278
	計	6	8,339

移譲市町名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
御殿場市	4条	0	0
	5条	5	14,613
	計	5	14,613
袋井市	4条	1	252
	5条	12	5,439
	計	13	5,691
裾野市	4条	0	0
	5条	2	1,270
	計	2	1,270
湖西市	4条	0	0
	5条	1	3
	計	1	3
伊豆市	4条	0	0
	5条	1	188
	計	1	188
御前崎市	4条	0	0
	5条	5	3,257
	計	5	3,257
菊川市	4条	0	0
	5条	5	3,609
	計	5	3,609
伊豆の国市	4条	0	0
	5条	2	7,478
	計	2	7,478
牧之原市	4条	0	0
	5条	6	15,491
	計	6	15,491
長泉町	4条	0	0
	5条	1	565
	計	1	565
小山町	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
吉田町	4条	0	0
	5条	6	1,674
	計	6	1,674
移譲市町計 (24市町)	4条	18	2,761
	5条	248	192,775
	計	266	195,536

合計	4条	18	2,761
	5条	268	198,962
	計	286	201,723

用途別	件数	面積(m <sup>2</sup> )	面積構成比
公共施設	1	1,384	0.7%
農林漁業	6	1,375	0.7%
住宅	125	48,933	24.3%
鉱工業	2	9,494	4.7%
道水路	1	55	0.0%
植林	0	0	0.0%
他建設用	10	32,160	15.9%
他施設用	108	93,152	46.2%
一時転用	33	15,170	7.5%
合計	286	201,723	100%

農地転用許可案件集計表(1月分)

R8

事務所名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
賀茂	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
東部	4条	0	0
	5条	1	397
	計	1	397
志太榛原	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
中遠	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
農地調整課	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
県計	4条	0	0
	5条	1	397
	計	1	397

移譲市町名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
静岡市	4条	3	476
	5条	6	2,358
	計	9	2,834
浜松市	4条	5	3,604
	5条	58	53,310
	計	63	56,914
沼津市	4条	0	0
	5条	1	2,823
	計	1	2,823
三島市	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
富士宮市	4条	0	0
	5条	2	309
	計	2	309
伊東市	4条	0	0
	5条	3	795
	計	3	795
島田市	4条	1	72
	5条	10	15,491
	計	11	15,563
富士市	4条	1	992
	5条	3	3,585
	計	4	4,577
磐田市	4条	0	0
	5条	9	1,193
	計	9	1,193
焼津市	4条	0	0
	5条	4	2,006
	計	4	2,006
掛川市	4条	0	0
	5条	9	6,518
	計	9	6,518
藤枝市	4条	0	0
	5条	4	268
	計	4	268

移譲市町名	条項	件数	面積(m <sup>2</sup> )
御殿場市	4条	0	0
	5条	1	193
	計	1	193
袋井市	4条	0	0
	5条	12	5,387
	計	12	5,387
裾野市	4条	0	0
	5条	3	4,238
	計	3	4,238
湖西市	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
伊豆市	4条	0	0
	5条	2	797
	計	2	797
御前崎市	4条	0	0
	5条	4	2,022
	計	4	2,022
菊川市	4条	0	0
	5条	4	1,180
	計	4	1,180
伊豆の国市	4条	1	21
	5条	2	1,541
	計	3	1,562
牧之原市	4条	1	200
	5条	9	33,782
	計	10	33,982
長泉町	4条	0	0
	5条	0	0
	計	0	0
小山町	4条	0	0
	5条	3	618
	計	3	618
吉田町	4条	1	67
	5条	0	0
	計	1	67
移譲市町計 (24市町)	4条	13	5,432
	5条	149	138,414
	計	162	143,846

合計	4条	13	5,432
	5条	150	138,811
	計	163	144,243

用途別	件数	面積(m <sup>2</sup> )	面積構成比
公共施設	0	0	0.0%
農林漁業	6	3,496	2.4%
住宅	77	21,863	15.2%
鉱工業	2	8,344	5.8%
道水路	0	0	0.0%
植林	0	0	0.0%
他建設用	8	33,208	23.0%
他施設用	55	44,057	30.5%
一時転用	15	33,275	23.1%
合計	163	144,243	100%

静岡県農地バンク(静岡県農業振興公社・農地中間管理機構)からのお知らせ

令和7年度農地バンク事業貸付実績(1月末実績)

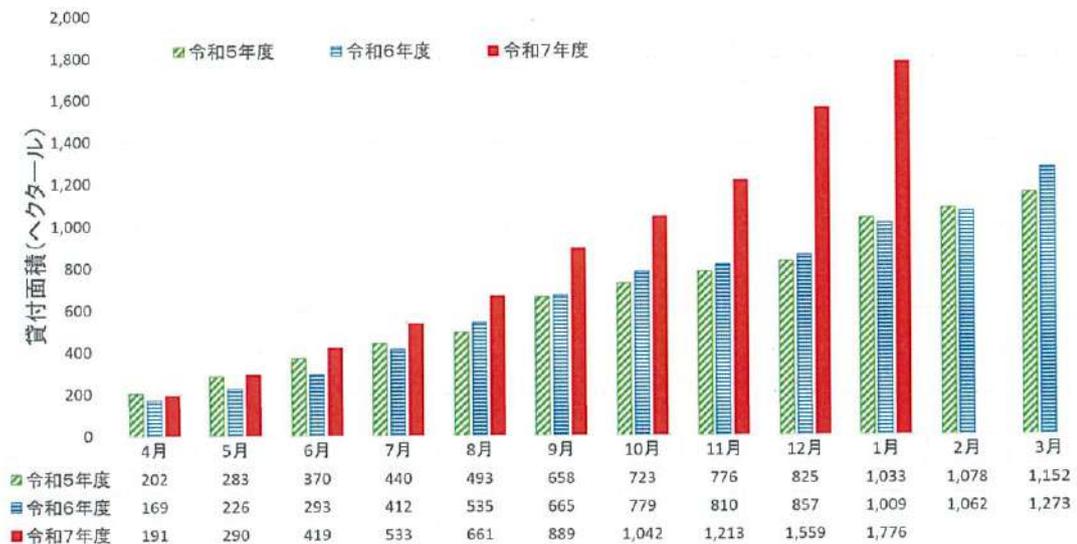
(単位: ha)

市町名	R7. 1末	R8. 1末	市町名	R7. 1末	R8. 1末	市町名	R7. 1末	R8. 1末
下田市		8. 4	裾野市	5. 5	5. 9	川根本町	4. 2	12. 6
東伊豆町	1. 5	2. 7	清水町			牧之原市	68. 0	109. 3
河津町	0. 2	0. 5	長泉町	2. 4	6. 8	吉田町	2. 9	14. 6
南伊豆町	0. 8	5. 4	御殿場市	33. 8	37. 2	志太榛原地域	185. 2	342. 5
松崎町	0. 2	2. 5	小山町	12. 2	43. 8	御前崎市	53. 4	81. 5
西伊豆町		0. 0	東部地域	123. 0	186. 2	菊川市	58. 5	223. 1
賀茂地域	2. 7	19. 6	富士宮市	26. 6	47. 7	掛川市	108. 8	170. 7
熱海市	1. 5		富士市	88. 3	68. 4	磐田市	163. 2	167. 2
伊東市	1. 6	2. 8	富士地域	114. 9	116. 1	袋井市	17. 7	77. 3
三島市	19. 6	35. 5	静岡市	56. 7	92. 0	森町	3. 5	13. 8
函南町	8. 9	9. 4	中部地域	56. 7	92. 0	中遠地域	405. 0	733. 6
伊豆市	5. 2	4. 8	島田市	16. 3	107. 8	浜松市	112. 5	260. 8
伊豆の国市	12. 8	11. 0	焼津市	53. 5	52. 5	湖西市	9. 1	24. 9
沼津市	19. 6	29. 2	藤枝市	40. 3	45. 7	西部地域	121. 6	285. 7
						県計	1009. 1	1775. 6

※ラウンドにより合計値は一致しないことがあります。

農地バンク事業の月別取組状況 (令和5年度~令和7年度)

農地バンク事業の貸付(配分)面積



若い農業者及び女性農業者等への周知徹底、加入者累計 15 万人早期達成強化運動

■■■ 本県における農業者年金の加入推進について ■■■

☆ 令和7年度の新規加入者の実績

		令和 8 年 1 月	目標	令和 7 年 4 ~ 令和 8 年 1 月	
				実績	達成率
本 県	加入者数	2 人	76 人	34 人	44.7%
	20~39 歳	2 人	46 人	12 人	26.1%
	女性	0 人	41 人	14 人	34.1%
全 国	加入者数	271 人	2,828 人	2,075 人	73.3%
	20~39 歳	131 人	1,625 人	995 人	61.2%
	女性	98 人	1,025 人	768 人	74.9%

※静岡市 1 人、富士宮市 1 人

☆長崎県島原市農業委員会の加入推進取組事例

令和6年度、長崎県島原市農業委員会では、15名の加入実績を上げました。

令和5年7月の農業委員、農地利用最適化推進委員(以下委員)改選により委員本人や家族(配偶者や後継者)での加入や、加入推進対象者との新たな人脈ができたことで、改選後から続けてきた加入推進活動が実際の加入に繋がり、例年より多くの加入に結びつきました。特に会長が多くの対象者へ農業者年金について説明をしていただきました。

農業者の老後生活の安定にとって農業者年金制度は重要であり、農業者のみが加入できる公的支援のある唯一の年金制度であることをPRし、制度を知らない農業者を一人でも減らしていこうとの考えで推進をしています。その中での取り組みとして、委員全員に、全国農業会議所が発行している農業者年金の携帯パンフレットを1人5部ずつ配布していただくようにしています。

加入推進名簿の作成・更新については、認定農業者とその家族(配偶者や後継者)を中心に作成した加入推進名簿に、毎月の認定審査会の度に新規認定者や今まで名簿になかった新規就農者を追加するなど随時更新しており、名簿の備考欄には、今後の戸別訪問時の参考になるように、戸別訪問時の本人の反応などを記載しています。

戸別訪問の実施体制としては、加入推進月間を中心に、加入推進名簿から対象者を抜き出し、携帯パンフレットを用いて担当地区の委員が声かけや戸別訪問をし、加入の意思を確認しています。加入の意思がある方については、後日委員と事務局もしくは事務局のみで再度訪問・連絡し、詳しい資料をもとに説明を行い、加入に繋げていきます。戸別訪問終了後、活動記録簿にて結果報告をしてもらい、翌年の戸別訪問の参考にしています。

■ ■ ■ 全国農業図書刊行案内 ■ ■ ■



図 書 名	コード 番 号	仕様等	価 格 (送料別)
令和7年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制	R07-22	177 頁	1,540 円
よくわかる農家の青色申告	R07-23	140 頁	990 円
女性の力を農業委員会に！	R07-24	4 頁	55 円
2025 年版 勘定科目別農業簿記マニュアル	R07-25	224 頁	2,420 円
ブラッシュアップしよう！地域計画	R07-26	8 頁	132 円
地域計画 実現とブラッシュアップ	R07-27	36 頁	385 円
複式農業簿記実践テキスト 新訂版	R07-28	161 頁	1,705 円
国が支える、大きな安心！農業者年金	R07-29	ポケット版 12 頁	121 円
2026 年農業委員会手帳 (農業委員用・農地利用最適化推進委員用)	R07-30A R07-30B	ポケット判	682 円
4 訂版 農地の法律がよくわかる百問百答	R07-31	389 頁	2,860 円
農業者年金加入推進事例集 vol.18	R07-32	48 頁	880 円
はじめての農業委員会4 農業委員会業務の手引 基礎編	R07-33	28 頁	550 円
<b>NEW</b> はじめての農業委員会5 農業委員会業務の手引 応用編	R07-34	36 頁	990 円
令和8年度経営所得安定対策と米政策	R07-35	16 頁	121 円
<b>NEW</b> はじめての農業委員会6 農業委員会業務の手引 事務局引継編	R07-36	32 頁	990 円
<b>NEW</b> 2026 年版農業委員会活動記録セット	R07-40	約 110 頁	660 円
農業委員会キャップ (メッシュタイプ) フリーサイズLL ネイビー	R07CM2 NFLL	-	1,650 円

※図書のご注文は、静岡県農業会議までお問い合わせください。

全国農業図書ホームページアドレス  
<https://www.nca.or.jp/tosho/>

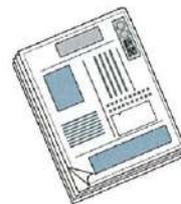


経営と暮らしを応援！最新の情報を発信し農業者を笑顔に輝かせます☆

# 全国農業新聞

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する専門紙です。

- 特徴のある週刊新聞・・・解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 時代に鋭く斬り込む・・・農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 農業委員・推進委員に役立つ・・・農地集積、担い手対策の参考に
- 経営に役立つ・・・経営者マインドと実務情報
- 喜びや悩みを共感できる・・・読者の心に訴える
- 深みと味がある・・・単なる情報で終わらない
- 読みやすく親しみやすい・・・老若男女が楽しく読める



発行日：毎週金曜日

購読料：新聞本紙：月額 700円（消費税込）

※新聞本紙は、電子版も閲覧可能

電子版：月額 500円（消費税込）

※電子版のみ閲覧

※購読の申し込みは、お近くの市町農業委員会、または静岡県農業会議までお問い合わせ下さい。

なお、電子版の申込は全国農業会議所のホームページのみのお取り扱いになりますので、ご注意ください。

全国農業新聞ホームページアドレス

<https://www.nca.or.jp/shinbun/>



情報事業の強化については農業委員の皆様の協力が必要不可欠です。  
農業委員・推進委員1人1部新規購読者の確保をお願いします。

■■■ 全国農業新聞 ■■■

令和8年4月号の申込・中止・変更の締切は、  
令和8年3月10日（火）となりますのでよろしくお願い致します。



# ご購入者の皆様へ 全国農業新聞 購読料改定のお知らせ

日頃より全国農業新聞をご愛読いただきありがとうございます。  
この度、令和8年4月1日より、下記の購読料に改定させていただきます。

- ・新聞購読料（税込）：月額900円（現行：月額700円）
- ・電子版購読料（税込）：月額700円（現行：月額500円）

弊紙は農業委員会系統の組織紙として、「農政」「経営・技術」「地域  
の話題」の観点から読者の皆様が「共感できる、身近でより親しまれる、  
読みやすい新聞」を目指して参りました。

平成27年に月額700円に改定して以降、10年間据え置いております。こ  
の10年間、さまざまな経費削減に全力で取り組んで参りましたが、昨今の  
新聞の印刷や発送、用紙費といった発行経費等の価格高騰により、現行の  
購読料では安定的な情報提供が困難になってきております。

購読者の皆様にご負担をお願いすることとなり、誠に申し訳ございません  
が、将来にわたる安定的な情報提供活動を維持するため、上記のとおり購  
読料の改定をさせていただきます。

今後は、読者の皆様が弊紙をより楽しめるよう紙面の更なる質的向上を  
進めるとともに、電子版を改良し、オンラインによる情報提供の強化に取  
り組む所存であります。

なお、電子版については新聞購読されている場合、追加料金なしでご覧  
いただけます。電子版への切り替えをご検討される方は下記にお問い合わせ  
させていただきますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先  
静岡県農業会議：054-294-8321  
または  
全国農業会議所：03-6910-1130  
※平日9:00～17:00

全国農業新聞電子版の申込はこちら



## 農業委員・農地利用最適化推進委員 皆購読達成状況

令和8年2月16日現在

市町名	R6 年度 3月	令和7年度 購読部数												農業 委員数	推進 委員数	総数 ②	委員 購読 部数 ①	普及率(%) ①/②	皆購読 達成 まで
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1 東伊豆町	16	16	16	16	4	17	17	17	17	17	17	17	16	10	6	16	15	94	1
2 河津町	17	8	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	11	5	16	7	44	9
3 下田市	20	9	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	14	7	21	21	100	0
4 南伊豆町	17	17	17	17	17	19	19	19	19	19	19	19	19	11	7	18	18	100	0
5 松崎町	19	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	12	4	16	16	100	0
6 西伊豆町	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	9	3	12	12	100	0
7 伊豆市	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	14	14	28	28	100	0
8 伊豆の国市	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	14	11	25	18	72	7
9 伊東市	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	14	8	22	22	100	0
10 熱海市	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	9	4	13	12	92	1
11 三島市	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	14	11	25	4	16	21
12 函南町	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	12	6	18	18	100	0
13 沼津市	44	43	43	43	42	42	42	42	42	42	42	42	42	19	19	38	38	100	0
14 清水町	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	1	14	14	100	0
15 長泉町	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	10	3	13	13	100	0
16 裾野市	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	12	9	21	21	100	0
17 御殿場市	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	11	20	31	31	100	0
18 小山町	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	10	9	19	18	95	1
19 富士市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	25	44	0	0	44
20 富士宮市	50	49	49	49	47	47	47	47	47	47	48	48	48	19	13	32	32	100	0
21 静岡市	37	32	29	31	34	35	34	34	34	34	34	34	34	19	37	56	16	29	40
22 焼津市	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	46	19	11	30	30	100	0
23 藤枝市	59	59	59	59	59	58	58	58	58	57	57	57	57	17	14	31	31	100	0
24 島田市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	19	14	33	33	100	0
25 川根本町	13	13	13	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	11	8	19	19	100	0
26 吉田町	20	20	20	20	19	19	19	19	18	18	18	18	18	14	3	17	17	100	0
27 牧之原市	42	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	17	20	37	37	100	0
28 菊川市	50	49	49	49	49	49	48	48	48	48	47	47	46	16	18	34	20	59	14
29 御前崎市	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	10	21	31	31	100	0
30 掛川市	46	46	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	14	24	38	36	95	2
31 森町	46	35	33	31	31	31	31	31	31	31	31	25	18	12	6	18	6	33	12
32 袋井市	36	36	36	35	35	35	35	34	34	34	34	34	34	16	12	28	28	100	0
33 磐田市	40	38	37	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	19	50	69	24	35	45
34 浜松市	161	163	160	163	162	162	162	162	162	162	163	163	163	24	37	61	60	98	1
35 湖西市	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	14	13	27	27	100	0
市町計	1,144	1,102	1,103	1,114	1,099	1,114	1,113	1,111	1,110	1,109	1,110	1,103	1,092	498	473	971	773	80	198
農業会議事務局	130	129	129	128	127	127	128	127	127	127	127	126	126	—	—	—	—	—	—
合計	1,274	1,231	1,232	1,242	1,226	1,241	1,241	1,238	1,237	1,236	1,237	1,229	1,218	498	473	971	773	80	198

**農業委員・推進委員による全国農業新聞の皆購読を達成しよう！**

## V 今後の日程

- 3月 4日(水) 女性の農業委員会活動推進シンポジウム(東京都・砂防会館)  
16日(月) 第2回静岡県荒廃農地調査DX化推進研究会(WEB)  
19日(木) 理事会(静岡市・静岡中央ビル)  
19日(木) 常設審議委員会(静岡市・静岡中央ビル)  
4月 22日(水) 常設審議委員会(静岡市・県農業共済会館)  
5月 14日(木) 都道府県農業会議会長会議(東京都)  
6月 2日(火) 全国農業委員会会長大会(東京都)

(下線=新規・変更)

農業者年金個別相談会の予定

2月 24日(火) 富士宮市(市役所)

※ この情報誌(カラー版)は静岡県農業会議 HP からダウンロードいただけます。

<https://www.shizu-nou-kaigi.or.jp/>

